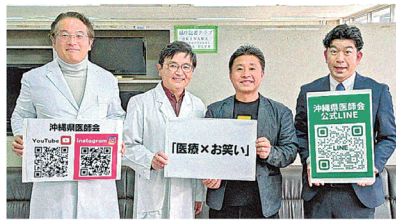




健康情報笑いで発信

県医師会とFEC連携



県医師会（田名毅会長）と芸能事務所「FECオフイス」（山城智一社長）は13日、県庁記者クラブで会見し、健康情報を笑いで発

信するなど連携していくと発表した。県医師会のSNS（山城智一社長）はSを通じてショート動画を配信する他、県民向けイベントなどでコラボレーションする。

県内は働き盛り世代の健康状態の悪化が課題。肥満や運動不足、過剰飲酒、高血圧、低い特定健診受診率などの課題があり、平均寿命の都道府県別順位が転落に歯止めがかかっていないのが現状だ。県医師会とFECは「医療×お笑い」をテーマに、県民の健康意識の向上や行動変容を促し、2040年までに健康長寿復活を目指す」と強調した。

田名会長は「エンターテインメント性と医学的知見を融合させ、これまでにない形で情報提供を行う。県民の健康意識の向上や行動変容を促し、2040年までに健康長寿復活を目指す」と強調した。

山城社長も「健康について学べる大喜利やお笑いコーナーも考えている。敷居を低くし、双方向で楽しめる内容にしたい」と話した。県医師会の公式ラインはQRコードから（社会部・下里潤）

【沖縄タイムス】2026年1月14日 健康情報笑いで発信 県医師会とFEC連携 沖縄タイムス社 提供

健康、医療 笑いで発信へ

県医師会とFEC 長寿県復活目指す



医療とお笑いの連携をアピールする（左から）県医師会の玉城研太郎理事、田名毅会長、FECオフイスの山城智一社長、ただのあきのりさん13日、県庁記者クラブ

県医師会の田名毅会長らが13日、健康情報の発信に向けて連携することを発表した。県庁で会見

した田名会長は「芸人を交えたSNSでの発信で、特定健診の受診率など県民の行動変容につなげたい」と期待を語った。会見では、医師会の田名会長と玉城研太郎理事、FECの山城社長、ただのあきのりさんが並んだ。

田名会長は「お笑いの力は大きく実感した」と話す。こうした経験を重ねて連携を図ることになった。田名会長は、市町村国保の特定健診の受診率が35・8%（2023年度）にとどまっていることなどから、働き盛り世代への情報発信を課題に挙げる。「お笑いの力を借りて若いうちから健康への意識付けをしたい。連携から始め、活動を深めたい」と述べた。

山城社長も「お笑いとお笑いを掛け合わせることで新しい取り組みが生まれる」と自信を見せる。異分野のタッグで健康長寿県の復活を目指す。県医師会の公式LINEはQRコードから（宮沢之祐）

【琉球新報】2026年1月15日 健康、医療 笑いで発信へ 県医師会とFEC 長寿県復活目指す 琉球新報 提供